

(記)

[タイム] 遊行開始(8:55)→右沢分岐(9:40)→橋(10:45)→源頭の湿原(11:15)→
稜線(11:20)

栗子川左俣右沢

1990年9月24日

L

稜線上は見通しがきかず、木の上に登って現在地を確認してから、11:40下降開始。まだ十分に育ちきらない樹林帯を5分も下ると、沢の源頭に出た。

急傾斜であるが滝のかからない沢が続く。ぐんぐん下ってゆくと、左岸に炭焼き釜跡があった。炭焼き釜があるのだから、踏跡でも残っているかと探したが、それらしいものは見当らず、そのまま沢の下降を続ける。

やがて1~5mの小滝が5つ連続する地点に出る。ここがこの沢の一つのハイライト(もう一つは最後に出現した15m滝)。最初の5mは、右岸を樹木につかまりながら下る。そのあとの4mおよび3mの滝はクライミングダウンとなった。

このあとはポツリポツリと小滝が出てくるものの、概して平凡な下りが続いた。やがて採石場で動いている機械の音が聞こえてくる。もうすぐ下降終了となるぞと考えていたら、突然目の前が切れ落ちた。15mの滝。左岸の急傾斜の斜面をブッシュや樹木を利用しながら下る。最後の華ともいべき滝だった。あとは採石場から押し出されてきた石を踏みながら下り、左沢との合流点の直前で左岸の道路に上がる。下降終了13:30。(記)

[タイム] 下降開始(11:40)→下降終了(13:30)

栗子川左俣左沢

1990年9月23日

L

